

令和7年10月吉日

栃木県内各中学校長 様

宇都宮大学共同教育学部附属中学校長
近藤 秀人
(公印省略)

令和7年度教員研修会の開催について

宇都宮大学では、地域社会と連携し、地域社会に貢献する取組を推進しています。その一つとして、附属中学校においては、現職の先生方が自分の課題をもち、本校教員とともに研修し、課題解決の一助にすることを目的とし、下記のとおり教員研修会を実施しております。

教育現場の先生方が日頃抱える様々な各教科に関する課題（指導内容、指導過程、指導法、教材開発、評価等）について、本校教員および宇都宮大学共同教育学部の教員を交えて解決策を模索し、研修がより充実したものとなるようにしたいと考えています。

なお、本研修会は栃木県教育委員会の後援を受け、栃木県総合教育センター主催の教職5年目研修、中堅教諭等資質向上研修、中堅養護教諭資質向上研修、栄養教職員20年目研修における選択研修の対象にもなっています。本研修をぜひ御活用いただきますよう御案内申し上げます。

記

1 実施期日と予定教科

令和7年11月20日（木）

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭
外国語（英語）、道徳

2 研修日程及び方法

12:50～13:15	受付
13:15～13:30	本校の概要、研修日程の説明
13:30～13:45	本校の研究について
13:55～14:45	各教科の授業参観
15:00～	ディスカッション（1時間程度）

3 参加者

公私立学校教員、附属中学校教員、宇都宮大学教員

4 参加申込み方法

必要事項を記入の上、11月11日（火）までにメール（下記アドレス）にてお申し込みください。

なお、この研修会の要項は本校ホームページ

（<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/fsight/jrhighschool/>）からも入手できます。

11月初旬までには、各教科の授業内容（学年、単元等）の一覧をホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

[申し込み時の記入事項]

- ・学校名 ・参加者氏名 ・研修教科（以上必須事項）
- ・ディスカッションで話題として取り上げてほしいこと（任意）

申し込み先アドレス **jhs@cc.utsunomiya-u.ac.jp**

〒320-8538 栃木県宇都宮市松原1丁目7番38号

宇都宮大学共同教育学部附属中学校 担当 芳田 潤（教務主任）

TEL 028-621-2555 FAX 028-625-2781

令和7年度 宇都宮大学共同教育学部附属中学校 教員研修会のお知らせ

後援 栃木県教育委員会

宇都宮大学では、地域社会と連携し、地域社会に貢献する取組を推進しています。その一つとして、附属中学校においては、現職の先生方が自分の課題をもち、本校教員とともに研修し、課題解決の一助にすることを目的とし、教員研修会を実施しております。

教育現場の先生方が日頃抱える様々な各教科に関する課題（指導内容、指導過程、指導法、教材開発、評価等）について、本校教員および宇都宮大学共同教育学部の教員を交えて自由にディスカッションし、その解決策を模索したいと考えています。

なお、本研修会は栃木県教育委員会の後援を受け、栃木県総合教育センター主催の教職5年目研修、中堅教諭等資質向上研修、中堅養護教諭資質向上研修、栄養教職員20年目研修における選択研修の対象にもなっています。参加費は無料ですので、本研修をぜひ御活用いただきますよう御案内申し上げます。

○期日 令和7年11月20日（木）

○教科 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語、道徳

研修日程

12:50～13:10	受付
13:15～13:30	本校の概要、研修日程の説明
13:30～13:45	本校の研究について
13:55～14:45	各教科の授業参観
15:00～	ディスカッション（1時間程度）

※ディスカッションについては、参加人数によって各教科の時間に違いがでることがあります。

○ 参加予定の大学の先生方

（大学の先生方も参加して、いろいろとアドバイスしてまいります）

国語	高井 太郎先生	保健体育	石井 幸司先生	家庭	渡辺 朗生先生
社会	松村 啓子先生	保健体育	石塚 諭先生	英語	田所 貴大先生
社会	熊田 禎介先生	保健体育	松浦 佑希先生	英語	田村 岳充先生
数学	日野 圭子先生	保健体育	石川 稜将先生	英語	長谷川 佑介先生
理科	人見 久城先生	技術	松原 真理先生	道徳	上原 秀一先生
理科	出口 明子先生	技術	石島 隆志先生	道徳	和井内良樹先生
音楽	小原 伸一先生	技術	川島 芳昭先生		
美術	本田 悟郎先生	家庭	佐々木和也先生		
美術	東方 悠平先生	家庭	良 香織先生		

昨年度参加された先生方の感想（自分の授業に活用するとしたら）から

- ・教科書の教材「で」教える意識をもつこと。【国語科】
- ・学習の個性化のもと、単元を貫く学習課題を生徒個人が設定するところ。【社会科】
- ・ICT 機器の使い方（振り返りや、生徒発表、ヒントカードの出し方、これまでの学習の蓄積の仕方など）、生徒がさらに深く考えるための揺さぶる発問、班活動の仕方、指名の仕方など、たくさんです！【数学科】
- ・課題、テーマをグループで解決していくスタイルをやってみようと思った。【理科】
- ・学習内容への迫り方、教室内の環境整備。【家庭科】
- ・スモールトークの扱いと、読む活動の際に追加で情報を与えること。【英語科】
- ・トリオ学習を取り入れたい。話し合い活動の方法。【道徳科】